太秦中学校区小中一貫教育構想

京都市学校教育の重点

こどもの主体性と社会性の育成を目指して
「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」を高める

小中一貫教育への願い

地域の願い

・温かな人間関係の構築
・よりよい街づくりとそのためのリーダー育成
・地域の宝としての，自ら考え行動できる自立した人材の育成

背景

・次世代の地域リーダー層の人材不足
・小学校から中学校へ約９割の進学
・子ども・大人とも「折り合いをつけられない」層の突出

研究主題

主体的に学び活動する
児童生徒を育てる
小中一貫教育

太秦小学校

自分も友達も大切にし
笑顔あふれる学校
～自ら学び　心豊かで
元気な子の育成～

南太秦小学校

「進んで学び合い　心豊かに
たくましく生きる子の育成」
～主体性・社会性の育成～
おはよう　仲良し　やりぬく子

太秦中学校

「校是　自立と貢献」
「折り合いをつける力」の育成

【研究仮説】

○小中学校の円滑な接続を行い，９年間の計画的かつ継続的な指導を行えば，基礎的基本的な内容を確実に習得し，さらに学んだことを主体的に活用する児童生徒が育つ。
○小中学校が連携してまちづくりに関わる活動を行えば，周りの人々と進んで関わり，地域の一員として主体的に活動できる児童生徒が育つ。

地域生徒指導連絡協議会，小・中ＰＴＡの連携と協働

「確かな学力」の育成に向けて

・お互いの授業参観および研究会等への相互参加
・９年間を見通した，道徳教育の推進
・合同研究主任会による各種学力調査の分析
・合同主任会による「あるべき姿」の確認と具現化に向けた方策の検討・実施

「豊かな心」の育成に向けて

・生徒会・児童会合同のあいさつ運動
・小中合同「イルミネーション」の取組
・小学生が中学校の授業・部活動・生徒会体験
・地域からも多数参観される合同演奏会